

○必要とされる予防接種回数（年齢別）

予防接種の種類	2～6歳 (幼稚園入園)	7～17歳 (小学校入学・編入)	7年生 (中学校入学・編入)
ポリオ（小児マヒ）[Polio]	4回 *A	4回 *B	
三種混合 DTaP/DTP/DT/Td ジフテリア [Diphtheria] 破傷風 [Tetanus] 百日咳 [Peruses]	5回 *C	4回 *D	新たに1回追加 *E
MMR（下記の混合） はしか（麻疹）[Measles] おたふくかぜ [Mumps] 風疹 [Rubella]	2回 *F	1回 *F	2回 *F
B型肝炎 [Hepatitis B]	3回		3回 *G
水疱瘡 [Chickenpox]	1回	1回 *H	

A：4歳の誕生日以降に少なくとも1回受けていれば、本来は4回の所を3回で必要な回数を満たす。

B：2歳の誕生日以降に少なくとも1回受けていれば、本来は4回の所を3回で必要な回数を満たす。

C：4歳の誕生日以降に少なくとも1回受けていれば、本来は5回の所を4回で必要な回数を満たす。

D：2歳の誕生日以降に少なくとも1回受けていれば、本来は4回の所を3回で必要な回数を満たす。

E：7歳の誕生日、又はそれ以降に百日咳ワクチンを1度は接種する必要があります。尚、百日咳単体のワクチンはなく、Tdap ワクチン（青年用の三種混合ワクチン：破傷風・ジフテリア・百日咳）やそれに代わるワクチンを接種することになります。

F：必要な回数を1歳の誕生日以降に受けていればよい。

G：7年生入学編入の際に必要なB型肝炎の予防接種は、11歳から15歳の間にすでに受けている場合のみ免除されます。

H：カリフォルニア州外から来た13歳未満の子どもに対し1回。もし、13歳までに水疱瘡の予防接種を受けたことがなく、水疱瘡にかかったこともなければ、2回接種が必要

※B型肝炎は1回目の後1ヵ月後に2回目を受ける。1回目と3回目の間隔は6ヶ月です。

※水疱瘡の予防接種は、水疱瘡にかかったことがある場合は受ける必要はありません。

予防接種調査

学年 _____ 園児・児童・生徒氏名 _____

生年月日 西暦 _____ 年 _____ 月 _____ 日 現在の年齢 _____ 歳 _____ ヶ月

○上記のカリフォルニア州の定める予防接種規定を満たしています。

(日本の母子手帳やカリフォルニア州の接種記録を見て、保護者の方が確認してください。
まだ十分に接種していない方は、接種でき次第、この用紙をご提出ください。)

保護者氏名 _____

保護者サイン _____ 日付 _____ / _____ / _____

追加接種し、情報更新の必要がある場合のみご提出ください。

また、追加接種が分かる記録 (Yellow card) のコピーを一緒にご提出ください。